



報 松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

会 あがた

発行所：
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒180-0004 東京都武蔵
野市吉祥寺本町 1-31-11
ポストインネットワーク内
TEL.0422-23-7620
発行人：濱 一昌

縣陵を卒業して今年で五十八年目を迎えます、縣陵の裏山美ヶ原高原の思い出を綴ってみました。

卒業後、松本を離れ東京での生活から年に数回の帰省時に松本駅に降り立ち正面に変わらぬ姿の王ヶ鼻の頂を眺める時、故郷の思いを強くします。

在学当時は東山の美ヶ原高原を仰ぎ見ながら登校し、下校時には、西山に聳える槍ヶ岳、常念岳等の北アルプスの美しい夕映えの中を帰る贅沢な毎日でした。

私は、小学五年の時に安曇野豊科から松本の源池小学校に転校し二年、清水中学を三年、縣陵を三年通算八年間、毎日美ヶ原高原を眺めての生活でした。美ヶ原高原は、深田久弥の書「日本百名山」の中で、その高さに、広さを加えると日本一の高原であ



東京同窓会 会長 濱 一昌 (高8回卒)

美ヶ原賛歌

と述べています。主峰は王ヶ頭(二〇三四m)、松本市内からは高原の西の端、王ヶ鼻(二〇〇八m)が美しい姿を見せています。日本の山の名に何故か「王」が

付くものはこの山だけです、名前の言われを知りたいものです。市内から眺められる美ヶ原高原の王ヶ鼻の姿は、エジプトの Sphinx に似た雄ライオンの横顔のイメージがあります。縣陵に入学し、美ヶ原高原との係わりを知ったのは、母校の歴史に、昭和四年九月二八日に発生した、美ヶ原遠足の帰りに二名の生徒の遭難事故が発生、小松初代校長が心労から翌年逝去され

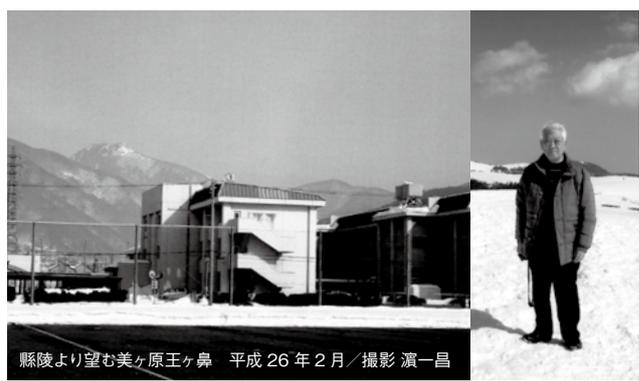
たことでした。私が二年生の昭和二十九年二月二十九日、山岳部員が前穂高岳での雪山訓練時に雪崩で二名が亡くなり、大晦日の夜に母校で迎えた悲しい思い出もあります。

美ヶ原は、アルプスの展望台と言われ日本百名山の内四二峰が見られ、四季折々に咲く植物や頂上部の溶岩は板状節理が発達している特長がある様です。

高校当時、自宅から美ヶ原までの日帰り登山は、母校の正門前から山辺に向い、薄川を離れ山道を直進桜清水(石切り場)から山裾を迂回し三城牧場に至り、

百曲がりに登ると美ヶ原の溶岩台地に立ちました。詩人尾崎喜八氏が詠われた「美ヶ原溶岩台地」の世界に入り、最高峰王ヶ頭に達します。今では電波塔が林立し、シーズンには沢山の人々が集う姿に、深田久弥氏が嘆かれることでしょう。高原の西端の王ヶ鼻は日本アルプスの眺望を楽しめる絶景ポイントです。王ヶ鼻からは急勾配の道を桜清水に下り帰路につきました。

今年の二月、友人に誘われて美ヶ原高原を半世紀振りに訪れました。厳冬期に訪れたのは初めてでホテルのシャトルバスは、山辺から駒越林道を通り王ヶ頭のホテルまで直行、数日前の大雪で高原は白銀の世界となり、雪上車で美しい塔等高原の散策に、夜は満天の星空、朝のご来光、王ヶ



縣陵より望む美ヶ原王ヶ鼻 平成26年2月 / 撮影 濱一昌

鼻まで往復二キロ、快晴の雪山を一人散策し北アルプスの白銀の連嶺を満喫、得がたい経験をしました。雪の高原を是非皆様にお勧めします。これからも機会があれば、縣陵の思い出と共に美ヶ原を旅したいです。

ゴルフ会員権のことでしたら 何でもお気軽に

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員
株式会社 **ゴルフ・プラザ**
代表取締役 **山本 靖弘** (高13回卒)
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-10 遠藤ビル4F
Tel.03-3271-2155 Fax.03-3271-2133



県陵創立90周年記念

大事業を終えて

創立90周年記念事業実行委員長・同窓会副会長 若宮 昭三 (中18回卒)

県陵百周年に向けて同窓会の結束を高めようと、イベント「大県陵祭」の開催が決議されたのは、平成22年6月のことでした。創立90周年記念事業委員会発足に際し、小生が実行委員長の

大役を賜り、学校長、PTA会長、東京・関西・長野・通信制の各会長が副委員長、総務委員長に池野氏、事業委員長に佐藤氏、財務委員長に本郷氏が決定しました。

翌23年6月には事業推進の趣意書、募金目標3千万円が決議され勸募が開始。事業計画が進む中、若手役員から「缶ビールで祝賀会の一斉乾杯を」との提案がありました。県陵ラベルの缶ビールを作るには3千ケース以上の注文が必要でしたが、委員各位のご努力の成果で、目標達成。これにより総予算は、3千万円から5千万円に変更になりました。

約3年間の準備期間中には委員は勿論、常盤事務局長はじめ入場者がありました。

一虹展(7月10-15日)松本市美術館には1500名を超え

800名、映画祭に400名、

午後5時、待ちに待った一斉乾杯の大同窓会。あがたの森芝生広場特設ステージに集う700名と全国・世界各地に滞在する同窓生が、母校県陵の益々の発展を期して一斉乾杯をしたのです。

願わくは、初代小松校長の大綱領が未永く引き継がれるよう祈念いたします。

次期実行委員長として次回同窓会への意気込みを語るにあたり、多少のユーモアを織りまぜようと某芸人の「ブラジルの人」をアレンジしたのですが、全くうけず自分としては残念だったことを思い出します。

そもそも私が実行委員長として挨拶することが決まったのは、

「関東にお住まいの縣陵の人、聞こえますか？ 来年の同窓会、8日の同窓会の場で35期の先輩葉の一部です。」

集まれ縣陵族！笑っていい友！

第47回実行委員長

松澤 佳幸 (高36回卒)



この言葉を覚えている方は、から実行委員長のタスキを引き継いだ際の挨拶で私が発した言葉の一部です。

Business Net CORPORATION

代表取締役 降旗 真寿幸 (高22回卒)
 取締役 寺島 巧二 (高34回卒)
 (元監査役) 濱 一昌 (高8回卒)

～社員募集中～ 卒業生歓迎

株式会社ビジネスネットコーポレーション
 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目28番34号 本郷MKビル3階
 TEL: 03-5805-0221 FAX: 03-5805-0223 http://www.busnet.co.jp

松本縣ヶ丘高等学校 東京同窓会

会長 濱 一昌 (高8回卒)

〒359-0014 埼玉県所沢市亀ヶ谷 109-4



昨年の同窓会当日のことでした。

35期の先輩には、来年は大丈夫なのかとぎりぎりまで心配をおかけしましたが、あれから数ヶ月。

今年のテーマは「集まれ縣陵族」笑つていい友!」です。

昨年創立90周年を迎えた我が母校。100周年に向けて今こそ、原点に立ち返り、今一度「質

実剛健、大道を闊歩せよ、弱音を吐くな」の縣陵魂を心に刻み

縣陵の大波を社会に起こしたいと思つていきます。

そして、そのためにも他校には類を見ないこの素晴らしい本

同窓会を自分たちより若い世代に引き継ぎたいと心より感じております。

同窓会に行きたくない理由の上位に「面倒くさいから」、「仲の良い友人がいないから」というのを目にしたことがあります。

もし同窓会への参加をためらっている方がいるならば、まずは一度足をお運びください。

「縣陵卒」。たったこれだけのことでつながり合える世代を超

えた仲間がそこには集つています。なぜなら私たちは、同じ志で高校3年間を過ごした縣陵族なのだから。

諸先輩のご指導・後輩の協力の下頑張りますので今年の同窓会は「みんな来てくれるかな? いいとも!」でお願いいたします。

さん、おばさんの話に付き合ってもらい、とても感謝しております。卒業30年の節目に、友人と再会でき、同じ目的を持って活動できる場を提供してくれる「愛のリレー」を伝統として受け継いでこられた先輩方に感謝するとともに、後輩に伝えていきたいと思つていきます。

「今年の母校愛のリレー」

「母校愛のリレー」実行委員長

渡邊 道生

(高36回卒)



昨年は、母校創立90周年の記念式典、大縣陵祭が盛大に行われ、100周年に向けての良いスタートとなりました。そして、創立91周年の今年4月19日(土)に、私たち36回生が「母校愛のリレー」を担当させていただきます。

我々は、会の名称を「36」の語呂合わせから「縣陵山麓会」とし、「母校愛のリレー」のテーマを「今、私たちが伝えられること」ボランティアへの想い」としました。当日の講演会は、本校卒業生ではな

いのですが、宮城県南三陸町在住の写真家で、ご自身も被災された佐藤信二氏にお願いしております。テーマには、次のような2点の想いを込めました。

① 東日本大震災の被災地の様子や、高校生の現状を紹介していただく講演を通じて、在校生に社会貢献や、自身の将来について真剣に考えるきっかけのつくりしてもらえたら、うれしい。

② 卒業30周年を機会に、36回生全体で少しでも学校行事を支援

し、独自の社会貢献活動を行い、講演会を開催するだけでなく、我々も母校への恩返し、社会貢献を行いたい。また、その姿が在校生へのメッセージとなれば、さらにつれたい。



2013年4月「母校愛のリレー」より

●診療科目●
小児科・内科

Mimura
MIMURA CHILDREN'S CLINIC
みむら小児科クリニック

院長 三村 明朗 (高24回卒)

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-11-3 Tel/Fax 03-3705-3322

○ [火・木・金]
乳児検診・
予防接種 (予約制)
○ 水曜・土曜午後・
日曜・祝日は休診

Pearl・Colored Stone・Diamond

TSUKAHARA
JEWELRY

有限会社 塚原ジュエリー
塚原 哲夫 (高18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸

〒110-0016 東京都台東区台東3-12-2 大上ビル2F
TEL/FAX:03-3837-9758 携帯:090-3234-6187



思いつくままに

松本県ヶ丘高等学校 校長 西牧 守にしまき まもる

東京同窓会の皆様には、昨年八月八日(土)に開催されました第四十六回総会・懇親会において大変お世話になり、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、社会のグローバル化や少子・高齢化の進展に伴い、幅広い教養と日本人としてのアイデンティティ、語学力や交渉力、多様な人と協働する力を含めたコミュニケーション能力、リーダーシップ、優しさや思いやりといった豊かな感性などを、教育を通して培い、これまで以上に若者の能力を最大限に伸ばすことが求められています。そして、それ

らを実現するために、これから国レベルでも、県レベルでも様々な施策が行われていくでしょうが、その実施にあたっては、単に流行に流されるのではなく、しっかりと地に足を付けた地道な実践を確実に積み上げていくことが大切であると思っています。

「人生は書物のようなものだ。愚かな人は雑な読み方しかしないが、賢い人たちは丹念な読み方をする。」とはジャン・パウルの言葉ですが、確かにものを学ぶ場面においても漫然と学んでいるため、素晴らしいもの・大切なものに出会ってもそれを見落としてしまう人もいれば、ど

んな時にも適度な緊張感を持つて学ぼうとしているため、些細なものの中にも新しい発見をする人もいます。ところで、作家の大江健三郎氏は、若い人たちに向かって書かれた文章の中で

「私が十三、四歳のころから五十年以上決して休まなかったことで、そういえば『知識人』になるための練習としてこれをやってきた」と思うものがあります。母親にも言ったことですが、生活の基本に、本を読むことを置く態度です。」と述べておりますが、そんな生活習慣を身に付けていくことができればと願っているところです。

百周年への大いなるステップ

創立九〇周年記念事業委員長 佐藤 彦雄さとう ひこお (高5回卒)



母校創立九〇周年記念祝賀会が無事盛大に終了したことを記念事業委員長として心から御礼と感謝を申し上げます。

事業委員会では百周年へのステップとして若い世代の意識の啓発と行動力の発掘を目指して、テーマを「大県陵祭」としました。委

員会の中に新たに小部会を設け、部会長に遠藤彰君(三二回卒)を選出し、二六回から四八回生まで八部会三〇数名の実動隊が企画か

信州／松本あさま温泉



〒390-0303 松本市浅間温泉1-28-16
Tel 0263-46-0573 Fax 0263-46-5178

URL : <http://www.asama-tamanoyu.co.jp>
E-mail : front@asama-tamanoyu.co.jp

山崎 正治・広太・礼美
(高5回卒) (高54回卒) (高57回卒)

縣陵三四会

巢山 英毅
(高11回卒)

〒178-0062
東京都練馬区大泉町6-11-6
Tel 03(3925)0244 Fax 0263(82)5711

縣陵三二会

(昭和32年 高9回卒)

平沢 和久

〒214-0036
川崎市多摩区南生田6-26-1

酒亭

ふじくら・宮ちゃん

宮腰 正英 (高15回卒)
090-7256-9707

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-14-1
(JR神田駅南口ガード下) 電話 03(3258)4758

不動産・相続の身近な相談所

三澤 政興 (高18回卒)

ファイナンシャル・プランナー(CFP)
公認不動産コンサルティングマスター
上級相続アドバイザー

株式会社 日本ビルワーク
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6番40号
入交ビル4階
Tel: 03(5225)9922 携帯090-2525-5037
Email : m-misawa@nbw.co.jp

縣陵 燦々会

佐藤 悦雄

(昭和33年 高10回卒)

〒203-0043 東久留米市下里7-3-33
Tel. Fax. 042-475-3241

ら実行まで精力的に活動してくれました。「失敗を恐れるな、失敗は百周年に生かせ」を合言葉に、「われらは百周年への戦士」と自覚し、熱く燃えていました。

他校に見られない秀逸な企画として全国初と言われる九〇周年記念缶ビールを製作し、最終日には会場と東京をはじめ全国各地の同窓生が一斉乾杯を実施することが出来ました。デザインは袖山英明氏(三四回卒)です。

初日七月十三日は母校講堂で記



祝賀会に先立ち、母校で開かれた記念式典

念式典、松本芸術館ホワイエでの祝賀会、音楽監督齊田好男氏(十八回卒)を迎えての音楽祭、山崎貴氏(三五回卒) 監督の「三丁目の

夕日」を観賞しました。

二日目はあがたの森の施設をフルに使ってアイデア一杯のプログラムが展開されました。これこそ小部会の面目躍如たる企画でしたが、紙面の都合で割愛します。一斉乾杯では旧職員や近隣の方々も参加して大いに盛り上がり、最後は有賀会長と上條恒彦氏による閉会宣言と県陵万歳で幕を閉じました。幕の下りたステージ上で小部会の諸君が肩を叩き合って感動の涙を流していた姿が目に残っています。

笑いについて

縣陵関西同窓会

すやま やすじ
栗山 靖司

(高7回卒)

テーマが「生まれ縣陵族ー笑っていい友ー」ゆえ笑いについて書く。大阪にいと笑いに話が多く、講演などでも聴衆を笑わせるものがよいと考えられる。

現代社会は極めて複雑でストレスが溜まるゆえ、笑いが必要だと言われている。吉本の芸人的な笑いが注目されるのはそうした社会状況があることは事実であろう。

しかし歴史的には芸人的な笑いは人間の死と密接に関係していた。時代は六世紀後半、河内平野を支配

し独特な密教的宗教と皆から恐れられていた呪術をもっていた物部氏一族が奈良の豪族蘇我氏一族に敗北した。物部のリーダー守屋は捕えられ即座に首をはねられ胴体と分離された。生命力は頭部に宿ると考えられていたので、出来るだけ早く胴体より切り離すことにより死を完成させると考えられていた。

首・胴・衣服・武器は別々に深い穴に埋められたが、その儀式に当り専門的呪術者達が首頭部より生命を追い出すため「ワツハツハ、

ワツハツハ」と表情を崩さず神の代理の如く無表情に懸命に笑ったと伝えられている。笑いの原点は悪霊を追い払う儀式にあったのである。この儀式は秀吉時代になっても行われていた。

先の話の続きであるが、物部を倒した蘇我氏族の一人に河内の益踊りに登場する俊徳丸つまり聖徳太子がいた。当時の人は太陽が昇り明るくなる現象を以って生をイメージし、日没し暗くなる現象を以って死をイメージし、昼間が最長となる夏至の日に最強となった生命力が、祖先の死の霊を現世に呼び戻し生死が一体となると考えていた。この時生死を結合する媒介として笑い・踊り・音楽が登場した。笑いは生死を一体化する。

イタリア輸入家具

青柳 善久 (高20回卒)

株式会社 東信商会
http://www.toshin-shokai.co.jp/

学校法人をはじめ各種法人のさまざまな事務処理、アウトソーシングを一括受託

株式会社 ポストインネットワーク

ホームページ <http://www.postin-net.com/>

発送代行、データ管理は、Pマーク企業の当社におまかせ下さい。

代表取締役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社：〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F Tel.0422-23-7620 Fax.0422-23-7630
 企画営業部：Tel.0422-23-7616 Fax.0422-23-7626
 物流センター：〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-1-9-6-2F URL: http://www.seikyoonline.jp

トキメソール

ピアノ教室

東京都足立区千住1-8-1
赤木 宏美
TEL 03-3881-9919

公益社団法人 才能教育研究会

総合建設業・一級建築士事務所・不動産企画開発

ひとに優しい未来を創る

ASUPIA
AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA

株式会社 **アスピア**

代表取締役 **百瀬 方康** (高22回卒)

〒390-8639 長野県松本市宮淵1-3-30
TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618
E-mail: info@asupia.co.jp

言葉と、生きていく。

SEIKYOSHIMBUN

広告局長 **赤須 光雄** (高校31回卒)
E-mail: akasu@seikyo-np.jp

聖教新聞社 〒160-8070 東京都新宿区信濃町18
TEL: 03(3353)6111(大代表)
URL: http://www.seikyoonline.jp

[定期刊行物] *グラフSGI *大白蓮華 *創価新報
*未来ジャーナル *少年少女きぼう新聞



ルフィの ようくに

恩師・3年日組担任・国語
大林基春 おおはやし もとほる

年甲斐もなく『ワンピース』という漫画を愛読しています。圧倒的な困難の中、自分たちの力と仲間

との信頼関係だけを武器にして旅を続けるルフィたちの姿は感動と示唆に富んでいて、すっかりはまつてしまいました。
一方で、還暦の年を迎えた自分は、ルフィたちのように駆け回っているとはいえない日々を過ごしていますが、それでも今の自分の内側で、県ヶ丘での月日の中で教え

られたことが息づいているのは確かです。
福永武彦、坂口安吾、塚本邦雄など、大先輩の先生方に教わった多くの文学者。山岳部の諸君と巡った北アルプスの山々、そしてスキー場は、今も心に刻まれています。(今はすっかり遠ざかってしまいましたが)
その後、転勤先で県ヶ丘出身の先生方にも出会い、平成二十一年には、かつて授業を担当したT先生と同じ学年の担任をするという縁にも恵まれました。
私は今、ソフトボール部の顧問をしています。インターハイという

頂を目指して毎日白球を追いかけて、そして毎年三年生は公式戦のどこかで負けて涙とともに引退して行きますが、その涙がやがてやり遂げた誇りに変わり、人生のグラウンドを希望とともに駆け抜けていく力になると信じています。
皆様も、卒業後の三十年間駆け回ってきたことと思います。雲に隠れる日もあるでしょうが、各々が目指す頂は、だれにでもいつでも在り続けるはずですよ。
皆様のご健勝とご活躍とを心から祈りいたします。



少年時代を 振り返る

恩師・3年A組担任・数学
小林 慎 こはやし まこと (高9回卒)

地方は記録的豪雪になり松本75cm、東京都心27cm、甲府114cmでした。信州は毎日寒い日が続いているため、もう2週間程になるがまだ一面真っ白な雪野原です。

さる2月14日・15日に南岸低気圧が急速に発達し、1894(明治27)年の観測開始以来、関東甲信

高校第36回生は高校を卒業してもう30年になるとの事。月日の経つのは早いものでつい数年前のこのような気がする。教師は望んで入った

道であったが、人を教えるということの難しさを今しみじみ感じる。振り返ってみると、生徒たちから教わったことの方が多かった。生徒たちにああしてやればよかったと思うことが沢山で「後悔先に立たず」の心境である。楽しかった思い出が走馬灯のように駆け巡り懐かしく思う。
題として不適當かもしれないが、私の少年時代を振り返ってみる。国民学校(現小学校)1年生が太平洋戦争終結の年で、軍国主義の時代から民主主義の新しい国造りが始まった年でもあった。あの頃現在のよ

うな恵まれた平和な経済大国日本を誰も予想しなかったと思う。あの戦争によって国民大衆が大きな犠牲を強いられた時代で、小・中学校の同級生に父親が戦死した人もいた。農家でも食糧不足で食べることに苦労した時代だった。日本経済が少し良くなってきたのは朝鮮戦争(昭和25年~28年)の頃からで中学校卒業時には、まだ経済的に苦しく就職する人も多くいた。そんななかで大学まで進学できありがたく思っている。教師と高校生時代を合わせる

AQUABUILD

代表取締役 **會田 恵司** (高29回卒)

〒399-8303 長野県安曇野市穂高5666-1
TEL:0263-82-8894 FAX:0263-82-0015



株式会社 あづさ総合保険

相談役 **月岡 温** (高15回卒)

事故・故障時アシスト
自動車
0120-119-110
超保険
0120-110-984
(24時間365日受付)

引受保険会社 東京海上日動火災保険
東京海上日動あんしん生命

〒390-0848 松本市両島6番3号
TEL(0263)31-3565代 FAX(0263)31-3566
携帯090-3565-6828
E-mail: adusa401888@nifty.com



母校の教壇 に立つて

飯森 実 (高36回卒)

陵での三年間がそれぞれの「人生の宝物」となっているからだろう。くしくも今年、卒業30周年「愛のリレー」事業に関わることとなり、同期生が集まる機会があると必ず「縣陵生の頃は…」なんて話になる。しかし、一方で、そんな光景が、自分にとっては非常に大きな苦悩でもある。

7年前の新任式、応援団諸君の工一ルを複雑な思いで受けた。縣陵の門をくぐったのは、二十数年ぶり。縣陵生の頃の私は学業の方もバツとせず、生徒会や部活で活躍したわけでもない。際だった個性など全く持ち合わせておらず、質実剛健なんてほど遠い目立たない存在。そんな私が、縁あつて縣陵に戻つてみると、とりわけ同窓生の母校愛は非常に強いことを痛感した。

今、その一人として数えていただけるのは非常に名誉なことなのだが、「こんな私が母校で教員をしているなんて…」と何だか恥ずかしく、申し訳ない気持ちは何年経つても変わらない。



同窓生の皆さまが、こんなにも母校愛が強いのは、縣校愛が強いのだらうか? 小さな私の苦悩と自問自答は続く。



あがた多目的グラウンド

縣陵在学当時は桑畑だった蚕糸公園の一角に人工芝の多目的広場が完成して一年。五月には県総体男子の準決勝に続いて女子の準決勝が行われました。色鮮やかな緑の人工芝を走り回る女子の選手達や、その先に見える縣陵の校舎をぼんやりみながら、あらためて時の流れとサッカーを取り巻く環境の変化について考えさせられました。

我々が高校を卒業した1984年、サッカー日本代表はオリンピックアジア予選を全敗で落とし、翌1985年は初のワールドカップ出場に最も近づくものの韓国に敗れ、本大会には出場できませんでした。私たちサッカーに関わるものにとつてワールドカップはあくま



学ぶじつをやめるじつ、 それは指導者を辞めるじつ

大谷 雅亮 (高36回卒)

で見えるもの、ワールドクラスのプレーには興奮するもののその場から応援する代表チームをもてない言いようのない寂しさを感じていたものです。

それから10年、日本にプロサッカーリーグ(Ｊリーグ)が誕生し、さらに20年の時を経てサッカー後進県といわれている長野県にもプロチームが誕生しました。わが恩師、渡辺三郎先生のご尽力により建設された「アルウィン」には毎試合1万人を超える人が足を運んでいます。今、担任をしている高校生が生まれたのが1997年。翌年仏ワールドカップに初出場して以来、代表は5大会連続でワールドカップに出場しています。

身近にプロチームがあり、代表がワールドカップに出るのが当たり前という環境の中で育った彼らと接する中で、自分の中の古い感覚を変えていかないと気がついたら化石のようになってしまうと危機感を募らせる今日この頃であります。

一級建築士事務所
Kaa 株式会社 カミムラ建築研究室
 KAMIMURA ARCHITECTS + ASSOCIATES

〒101-0047 千代田区内神田 1-16-9 内神田サニービル7F
 TEL : 03-5577-4246 Email : kamimura@kaa.co.jp

代表取締役	上村 英成	(高45回卒)
専務取締役	原 逸穂	(高18回卒)
設計長	大友 一志	(高26回卒)
設計長	平林 昌倫	(高44回卒)
主任	宮下 秀一	(高45回卒)

■松本本社
 〒390-0814 松本市本庄 2-8-1 TEL : 0263-32-4268

やっぱり、この味!!
 マルシヨウの味噌・醤油

信州の伝統食文化を守り育む
(株) 丸正醸造
 長野県松本市出川町7-7
 TEL 0263-26-1647



第47回 縣陵東京同窓会 総会・懇親会

2023年、創立100周年まであと10年です！
 今年は、カウントダウン10年の開幕として、みんなで
 集い合い、今再び縣陵魂を燃え上がらせましょう！

2014年6月14日(土)

受付	12:00 ~
開場	12:15 ~
総会	12:30 ~
懇親会	13:15 ~



東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL : 03-3261-9921 市ヶ谷駅徒歩2分

6月14日(土)の東京同窓会に来てくれるかな～？

いい友!

縣陵山麓会Tokyo
 東京同窓会36期同窓生一同



集まれ  高
縣陵族

みんな
来てくれるかな〜

36th
笑って
いい夜!



【会場】アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 3階 富士の間



Saloneze
上原 珠子 (高36回卒)



JAAアロマコーディネーター加盟校(アロマセラピスト養成学校)

アロマスクール ロータス

Tel 090(5507)9903

東御市本海野1618 受付時間/9:00~20:00
<http://www17.plala.or.jp/yawara77/lotus/>

あらゆるイベントをサポートします!

 株式会社 ミューズメントワークス

代表取締役 原 昇 (高36回卒)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-3-2-310
TEL 042-725-8905, (携帯)090-2942-7966

立ち上げから22年間、事務局の制作責任者として
日本最大級のジャズフェスを創ってきました。

横濱JAZZプロムナード

[http:// www.jazzpro.jp](http://www.jazzpro.jp)

日本最大級 子連れOKなレストランを探せる
クチコミサイト スマイリーマム

 Smiley-Mom

取締役 河野 哲男 (高38回卒)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2
神田神保町2丁目ビル6F



Kerryph Ladies

懸崖レディース「墨田区体感ツアー／防災体験&スカイツリー」

震度7強の揺れを体感。

なかむら みすず
中村美鈴 (高49回卒)

平成25年の春、レディース役員へ入れていただき、10月に行われた行事に初参加いたしました。行事内容は、墨田区の防災館で防災体験ツアーに参加し、ホテルのランチビュッフェでお腹を満たした後、東京スカイツリーでの眺望を満喫するという盛り沢山の内容でした！

男性も沢山いらつしやり、年代も様々で、皆さん楽しそうに交流されていく様子がとても微笑ましく印象的でした。私からは、行事前半の防災体験ツアーについてご報告いたします。

本所防災館は、錦糸町駅から徒歩約10分です。早朝に駅へ集合し、総勢49名の大行列で防災館へ移動しました。震災についてのシアターを観覧し、2グループに分かれて体験ツアー(消火、応急救護、煙



窓の外は空だった。地上345m、東京スカイツリー展望デッキにて。

お、おいおい、お願いだ止めてくれ！震度7強の恐怖を実感。



地震開始です。「消火」は、消火器についてのクチャー後、火災の映像(壁)に向かって本物の消火器(中身は水)を使用してみるものです。「応急救護」は人形相手の心臓マッサージおよびAEDの使用体験。「煙」は白煙が漂う区画を低姿勢(下の方が煙が薄い)で進んでいくもので、とてもリアルな体験でした。「地震」は高震度の横揺れや縦揺れを体験するもので悲鳴もあがっていました。冷静に対応するには日頃から心構えが必要と感じました。

身近で重要な防災について、楽しみながら学び体験できるといって、とてもよい企画だったと感じています。役員らしいことができず申し訳ないですが、皆さんの笑顔に触られたことがとても幸せでした。

会社法人の設立・登記 土地建物の測量・登記
行政許認可申請 相続・成年後見手続

民間紛争解決手続代理関係業務(ADR)認定土地家屋調査士
住宅ローンアドバイザー 宅地建物取引主任者

杉本 政昭 (高33回卒)

土地家屋調査士法人 鈴木事務所
弁護士法人 おおたか総合法律事務所
〒160-0022 東京都新宿区新宿二丁目4番8-502号・601号
TEL.03-3354-5004 携帯電話080-3388-3759
E-mail m_sugimoto@suzukioffice.co.jp

代表 安藤 久美子 (高22回卒)

*信州の味 *山芋料理

花てまり

Dining Bar
HANA TEMARI
(和風料理)

〒160-0004
新宿区四谷3丁目7番 かつ新ビル2F
TEL・FAX 03-3355-8710
<http://hanatemari.hp.infoseek.co.jp>

名刺デザイン等
承ります。
ご相談ください。
<http://kotkotri.moo.jp/>
oshigoto/mm.html

イラスト・絵本
もとやままさこ

元客室乗務員が教える
接客マナー・接客研修
店舗・病院・旅館・オフィスなど

代表 **水橋 史希子 (高35回卒)**

Gloria Time
グロリアタイム株式会社

お問い合わせはホームページから
「グロリアタイム」で検索してください。
<http://gloriatime.com/>

健康ですか?
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山5-7-9-102
(京王井の頭線 久我山駅前)

TEL 03(3332)5725(予約制)

院長 久保田昇子 (高18回卒)

Kenryoh Ladies

高さを実感、スカイツリー。

縣陵レディース代表

衣袋めぐみ (高27回卒)



平成25年度の縣陵レディースの行事は、「墨田区体感ツアー」防災体験&スカイツリー」として、10月19日(土)に参加者49名(男性20名、女性29名)で行なわれました。当日は、JR錦糸町駅に集合後、

ど沢山のおいしい料理を、各々が満足がいくまで楽しめました。また、縣陵同窓生同志・年代を超えた楽しい交流が各テーブルで繰り広げられ参加者の皆さんに満足して頂けた模様でした。

午後からは、地下鉄半蔵門線で錦糸町駅から押上駅まで移動してスカイツリーに向かいました。スカイツリータウンの中は、土曜日とあつてかなりの混雑でしたが、展望デッキまでのエレベーター乗場まで、迷子になることもなく無事たどり着くことができました。事前予約ができていたので少しの待ち時間で、エレベーターに乗る順

番が来ました。展望デッキでは、生憎の曇り空でしたが眺めは最高でした。地上の人が米粒ほどに見える、高さを実感できました。全員で集合写真を撮影後、行事としては終了となり解散となりました。

解散後は、それぞれがグループなどに分かれ、展望回廊に昇ったり、休憩したり、買い物をしたり、2次会に行く人など皆さんそれぞれ楽しまれた様でした。

今年度の行事は、まだ未定ですが同窓会の総会では、楽しい企画が発表できると思いますので、皆さん誘い合わせて参加して下さいませ。様、よろしくお願ひ致します。

秋の房総めぐり 中信同窓連旅行

伊藤芳範 (高34回卒)

前日まで大型台風の進路が心配でしたが、幸い旅行当日は台風一過の見事な快晴に恵まれました。中信同窓連親睦旅行の参加者六一名を乗せた観光バス二台は、八時半過ぎに新宿駅西口を出発して千葉県へと向かいました。

幹事校は木曾山林と塩尻志学

館の二校です。縣陵からは十五名が参加しました。

旅程は成田山新勝寺で参詣と昼食。最東端の銚子で太平洋の展望を楽しんだ後は、九十九里寒菊銘醸造にて酒蔵見学を済ませて宿泊地の鴨川小湊に向かいました。

翌日は清澄寺を参詣し、養

老溪谷に向かいました。昼食後は遊歩道になっている養老溪谷の栗又滝付近の散策を楽しみました。

中信地区十一校が集う親睦旅行は、学校や年代を越えた『同郷の仲間』としての心が通い合い、宴会も車中も楽しいひと時を過ごしました。特に今回は「ふるさとは今もかわらず」「花は咲く」などの合唱で盛り上がりました。次回の幹事校は松本工業と豊科です。



地球の丸く見える丘展望台にて縣陵勢 15名、最後列右から3人目が筆者

いただきました。

<http://34kenryo.blog.fc2.com/>

縣陵34期会 - 1982年(高34回)卒

給食が終わったあとの挨拶、当時はちっとも不思議ではなかったけど、いまはやっぱり「こちそうさま」って言うてますよね。

でも、年に一度くらいは、この言葉を使わせていただくことにします。三六回卒生のみなさん、よろしくね！





新潟白山球場の夏

県陵野球部東京OB会「丘の会」副会長兼幹事長

千津井 利男(ちついでい としお)
(旧姓百瀬) (高10回卒)

県陵野球部の東京OB会「丘の会」の役員会の折、会長の松尾先輩より県陵野球部歴史の中で、一番好成績を残し、いまだ記録は破られてはいないという理由で、東京同窓会会報「あがた」への寄稿の依頼を頂きました。

改めて五十七年前(昭和三十二年)を思い出してみると、西沢野球部長(通称ゆたんぼ)と学生野球部監督として、信越大会の真夏の熱い戦いを経験しました。大変名誉な事でした。

新潟白山野球場のグラウンドの状態は砂地で、特に遊撃の守備範囲は酷い状態でした。外野は雑草が生えとても良いグラウンドとは言えない中で、信越大会の選手権大

会の決勝戦は長野県同士の上田松尾高校となり、おしくも4対2で負けてしまいました。残念なことに甲子園に行きませんでした。

昭和三十三年卒業後、大学の硬式野球部に入り、春の新人戦にユニホームを頂き、ベンチに入ることが出来大変喜びました。ところが病気になるり三月月ほどブランクがあり戻った時は、もうポジションはあ



西沢野球部長(左)、筆者(右)
新潟白山野球場にて

りませんでした。ポジション争いは厳しく、甲子園経験者の同僚がポジションを獲得していました。あの信越大会で勝って甲子園に行っていれば、違った人生になったのではないかと思ったりしました。

現在は、東京同窓会の総会、燦燦会(昭和三十三年卒)などに出席して当時の同期・後輩たちと親しくお話しが出来る機会があり、そのたびに、「県陵野球部を甲子園へ出して下さい」、「先輩、是非甲子園へ出して下さい」と言われ熱い歌を歌いましょうよ」と言われ熱い思いと、戸惑いを覚えることも多々ありました。

県陵野球部OB会「丘の会」の会員は今七十名程おります。県陵東京同窓会の会員の中には、まだまだ野球部の先輩が多くいらつしやると思います。共々県陵野球部の強化向上に関心を持って頂き、丘の会に参加して頂きたいお願い申し上げます。



拝啓

貴兄におかれましてはますます御健康のことと推察いたします。

卒業から

半世紀の今

下條 勝也(しもじょう かつや)
(高16回卒)

それがし3年前、「中学卒業半世紀」をそれなりに歳を積み重ねた同級生と松本で記念しました。そして

気がつけば今年、縣陵のオールボーイ歴も50年。駆け抜けた年月を数えるよりも、まだまだ先を読み続けたいとおこまがしくも思い巡らせております。

そこで近況をお知らせします。松本の姉妹都市・湘南藤沢に居をかまえ35年、新聞記者を9年前に卒業して、地域生活に入りました。そして

東京OB会の入会を常時受付中!!

県陵野球部を応援します。

松本県ヶ丘高校 野球部 東京OB会

会長 松尾 静二郎 (高9回)

045-351-1620

幹事長 千津井 利夫 (高10回)

03-3300-4400



「丘の会」
めざせ! 甲子園!!



[KintaFlat]



小松清路建築研究所

SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES

代表 小松清路 (高23回卒)

〒169-0072 新宿区大久保2-1-3-1201 TEL.03-3209-3127 FAX.03-4220-7028
E-mail: A.S.Komatsu.Aoeki@orange.zero.jp URL: http://orange.zero.jp/A.S.Komatsu.Aoeki/

自分史でも作りませんか。
お手伝いしますよ。

グラフィックデザイン 荒木デザイン室

代表 荒木 仁 (高23回卒)

tel.042-301-1144 fax.042-301-1145

araki@arajin.jp http://arajin.jp

www.tellysworks.com
イラストレーションスタジオ・テリーズオフィス
090-9824-5655
art@tellysworks.com
〒154-0004
東京都世田谷区太子堂1-13-11-411
佐原輝夫 / 23回卒

インテリアARAKI

内装工事・設計・施工

代表 荒木 仁 (高23回卒)

〒157-0061 世田谷区北烏山7-2-18

TEL: 03-3308-5610

FAX: 03-3308-5624

Email: gh-araki@jcom.home.ne.jp



時を同じくして、近所の仲間と休耕田を蘇らせて米作りにいそしんでおります。今年で9回目の田植えとなります。

機械的に、かつ自動的にものを生産するのと違って、季節季節の小さな作業の繰り返しで年に1回の秋の爽りを楽しんでおります。それに加えて嬉しい事に田んぼの水源のせせらぎにホタルが戻ってきました(石川丸山谷戸で検索)。6月初旬、住宅地のはずれにホタルの大乱舞がみられます。少々有名になり、ギャラリーの増加に伴いマナー違反者に頭を悩



創立90周年「大縣陵祭」、一斉乾杯の瞬間 あがたの森にて

ませているこの頃です。

ところで昨年は「大縣陵祭」でしたね。ホタルも終わつた7月、中央道を飛ばしてたくさんの同窓生が集まった信大の校庭に夕方飛び込みました。まさに上條恒彦氏が「カンパニー」の声を上げるところ。かろうじて縣陵ビルで喉を潤した次第。楽しい思い出がまたひとつ増えました。

紙面が尽きました。それがしの今をお伝えするともに、激動の時代にお互いの元気を確認しつつ、貴兄におかれましてこれからのご自愛を切に祈ります。

敬具



第40代上野駅長に就任して

おたのみの森
太田稔 (高26回卒)

上野駅は1883年の開業以来、故郷と首都東京を結ぶ北の玄関口として、また、東京の「大ターミナル」として長い歴史を刻み、昨年7月28日おかげさまで開業130周年を迎えた。関東大震災で初代駅舎が壊滅する苦難の時代もあったが、日本人の故郷を結ぶ「心の駅」として愛され親しまれてきた。これまでいただいた信頼に感謝し、これからも安全第一に愛され信頼される上野駅であり続けることを誓い、節目の時の重責を全うする日々である。

私が県陵を卒業したのは1974年、塩尻駅や松本駅で働いたこともあったが、東京や東北でダイヤ改正と観光開発に長く携わった。スーパーあずさ、カシオペア、長野新幹線、湘南新宿ライン、はやて・はやぶさ・こまち等、また、長野オリンピック後半から宮内庁担当として両陛下をご案内し、観光では未知を歩こう信州キャンペンも推進した。

第49代池袋駅長を経て昨年第40代上野駅長に就任した。いずれも首都東京の巨大ターミナルだが上野駅に



10年ぶりのSLと上野駅長

高30回卒一同

高29回卒 **横田尚江**
高35回卒 **木下匡晃**
信州松本・大名町のはんこや

有限会社 木下製印社
松本市大手3-3-5(八十二銀行前)
TEL (0263) 32-2665
URL <http://www.inshop.co.jp>
営業時間 AM8:30~PM7:00
定休日 日曜・祭日・土曜の夜

福の会
29 の かい
高29回卒一同

高33回卒一同

第6回 首都圏在住の県陵生OBによる絵画、彫刻、工芸、書、各種デザイン、写真などの展覧会

東虹展

●東虹会の活動
●東虹展(4年ごとの展覧会)
●葉桜の宴(屋外での親睦会)
●忘年会(年の瀬の納会)
●スケッチ会など

●会長● 宮沢 利昭(高9回卒)
●実行委員長● 中村 茂幸(高27回卒)

2015年1月26日(月)~31日(土) 会場:東京八重洲・ギャラリー白百合 入場無料

新入会員、大歓迎! 気軽に事務局にお申し出ください!!
東虹会事務局/佐原輝夫(高23回卒) 〒154-0004世田谷区太子堂1-13-11-411 mail/art@tellysworks.com



広がる縣陵の絆

おおぬまだ まさき
大沼田 正樹 (高43回卒)

私が facebook と出会ったのは 2010 年 2 月、今から 4 年前のことでした。

友人との連絡手段として facebook を利用していましたが、ある時縣陵卒業生をグループで結びつけることができることを知り、少しずつ会員を増やし 2014 年 2 月現在会員数約 1200 人という県下でも最大級のグループに成長いたしました。過去このグループからは様々な活動が生まれてきています。

早起野球部【ALL BLUE】発足、会社設立(2社、今年度2社設立予定)、ビジネスマッチング、オフ会の開催、同好会の発足等々 4 年前には想像もしない動きが波及しています。

今後の活動にも街活性化事業、各部活の同窓会設立、新規同好会発足、会社設立と facebook を通して縣陵の絆が強く結ばれることが期待できるものばかりです。

この活動を通して気づかされることは縣陵生の絆が非常に強いというものです。同窓生はこよなく縣陵を愛し、縣陵と共に歩み、明日へ向かってさらに強い絆が構築されてゆくものと確信いたします。どうかこれからの活動に一層のご支援、ご協力と忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

松本県ヶ丘同窓会理事

【facebook 縣陵グループ登録方法】

1. facebook に登録する。※既に登録済みの方は 2 へお進みください。
2. facebook 上で「大沼田 正樹」を検索し「友達になる」をクリックする。
3. こちらで確認で次第、松本県ヶ丘高等学校グループへ登録させていただきます。※縣陵グループへの登録は登録者管理のため友達申請が必要条件となります。

facebook 松本県ヶ丘高等学校グループページアドレス
<https://www.facebook.com/groups/agatagaoka/>



かっこいい縣陵

まるやま えみ
丸山 恵美 (高38回卒)

縣陵入学時、「質実剛健であれ」「大道を闊歩せよ」「弱音を吐くな」の三大精神と「縣陵」の響きに、かっこいい学校！と胸が高鳴ったのを覚えています。

ところが、入学後は大道を闊歩するような高校生にはなれず、地味に三年間を過ごし、「高校の思い出なんて何もない」とずっと思っていました。それが最近、自分の高校生活も意外と面白かったかも、と思

えるようになりました。きっかけは、東京での縣陵の集まりで、一学年上の音楽部の先輩にお会いしたことでした。先輩は高校時代のままで、声も変わらず、その声で急にいろいろなことが思い出されるようになったのです。

音楽室の床のぎしぎし鳴る音、顧問の茅野先生のめがね、扉の壊れた下駄箱、憧れの先輩方(男子も女子も)、かいじゅうのうた、縣陵祭の

ステージ、女子ばかりの中でめげずにいてくれた男子部員たち、合宿キャンプ、アカペラで歌う合唱の校歌。そして、私もかっこいい「縣陵」で、ちゃんと高校生活を楽しんでいったのだな、と今になってようやく認めることができました。これも、卒業生のみなさんとお会いする機会があつてこそこのこと感謝しています。

また、卒業後、東京の看護学校に入学し、看護師になって二十五年、同じ病院で働き続けている今の自分の生き方は、縣陵の三大精神そのものではないかとも思えます。かっこいい縣陵の「音部」で三年を過ごせたことは、宝物なのかもしれないと思う、今日この頃です。



**おかげさまで利用者
1,000万人突破
完全無料で
スマホページが持てる!**

困った...
流行のスマートフォンを使って若いお客さんを集客したいけど、おカネも足りないし、なかなか良い方法が見つからない...
知らないの?
今、話題の「アイコンット」を使えば、今すぐ無料でスマートフォン用のお店紹介ページが簡単に作れちゃいますよ!

Thank You! 1,000万ダウンロード!
読み取り No.1!!
進化するバーコードリーダー
アイコンット
<http://www.iconit.jp/>

株式会社 メディアシーク
代表取締役 **西尾 直紀** (高36回卒)

今だけ! 期間限定キャンペーン実施中!
詳しくは...
<https://ims.iconit.jp/iconitmanager/>
アイコンットマネージャー 🔍 検索

📞 **03-5423-6618**
(アイコンットマネージャー担当)
受付時間 平日10:00~19:00

みなさん昨年ありがとうございました。
がんばれ後輩!
第47回東京同窓会を心より応援しています

東京KNR35
東京同窓会 35 回生一同





松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 平成25年度決算報告

【一般会計の部】

自25年4月1日 至26年3月31日現在 単位:円

収入の部		支出の部	
適用科目	金額	適用科目	金額
前年度繰越	2,367	総会関係支出	2,744,566
本部助成金	100,000		
総会関係収入	3,149,536	懇親会費	2,342,130
総会会費	2,868,000	諸雑費	85,049
寄付金	186,500	実行委員会費	317,387
ご祝儀	95,000	会報発行費	508,237
雑収入	36	印刷費	241,297
広告費	660,000	発送費等	266,940
会費特別勘定繰入	932,000	編集会議費	0
会費繰入(年)	432,000		
会費繰入(終)	500,000	その他支出	1,838,191
		幹事会費(5回)	993,740
寄付金	0	総務委員会	92,791
		総会指導委員会	94,140
幹事会費(4回)	585,000	渉外費	256,500
仮払金戻り	100,000	広報委員会	46,640
		HP運営費	141,250
		会計委員会	0
		事務局	24,049
		縣陵レデース	184,650
		諸雑費	4,431
		仮払金	100,000
		90周年特別事業	
		本部寄付	100,000
		イベント補助	31,859
銀行利子	48	次年度繰越金	206,098
総合計	5,528,951	総合計	5,528,951

平成25年度特別会計の部

1. 会費特別勘定

前年度末残高	6,579,020 円
本年度終身会費受入額	460,000 円
本年度年会費受入額	396,000 円
振込み手数(-)	40,440 円
一般会計繰入	932,000 円
増加利息	999 円
会費口座預金残	6,463,579 円

2. 特別基金勘定

りそな銀行定期預金	1,631,923 円
内 当期預金利息	325 円

平成25年度会計報告並びに特別会計の部を上記のとおりご報告いたします。

平成26年3月31日

会計委員 太田 均 勝野 憲昭 小林 哲彦

会計監査報告書

会計委員より提出を受けた会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成26年4月15日

監事 高附 弘幸 矢満 田克夫

平成25年度次期繰越金内訳

みずほ銀行普通預金	206,098 円
会計幹事手許現金	0 円
合計	206,098 円

会費振込みのお願い

会則第15条に基づき平成26年度の年会費の徴収を行っています。同封しました郵便払込取扱票をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。なお総会当日も受付にて年会費の徴収も行いますので併せてご利用下さい。年会費2000円(財政委員会)

平成25年度事業報告

母校創立90周年記念事業「大縣祭」が盛大に開催され、祭典の中締めは縣陵ビール片手に世界同時一斉乾杯で盛り上がり、母校での記念式典には東京同窓会からも多くの同窓生が参加しました。1964年東京オリンピックが開催されてから半世紀、再度2020年に東京でオリンピック・パラリンピック開催が決まり、50年前、全国聖火リレーに縣陵生が胸に「日の丸」ランニング、短パン姿で松本市内を走った思い出が蘇ります。

以下、一年間の主な活動についてご報告いたします。

第46回東京同窓会総会・懇親会は、高校35回生が実行委員となつて、「笑顔満祭だヨ 全員集合!!」をテーマに平成25年6月8日(土)アルカディア市ヶ谷「富士の間」において母校から西牧校長、若宮同窓会副会長、母校恩師、寮友校の代表者等大勢のご来賓を始め316名の同窓生参加の下盛大に開催されました。イベントでは縣陵トリビアクイズあり、往年のヒットソング熱唱あり、ダンスありで参加者全員が18歳の縣陵生に蘇りました。

各委員会活動報告

- 総務委員会** 合同幹事会4回開催、代表幹事会1回開催
- 財務委員会** 終身会費納入者23名、年会費納入者198名
- 渉外委員会** 本部同窓会・関西同窓会及び寮友高(松中深志、松商京浜校友高) 総会参加、中信同窓連・長野県東京同窓連行事参加、のべ参加人数67名
- 県陵レデース** 「墨田区防災体験ツアー&スカイツリー」参加者49名(女性29名男性20名)
- 広報委員会** 会報「あがた」の発行、HPの改良・維持・管理
- 総会指導委員会** 高35回から高36回実行委員会への引継
- 6年委員会** 実行委員年次より6年遡った若い世代を中心に親睦を深め同窓会将来の基礎造りを図る。親睦会開催2回、参加者のべ34名、(高23回~高52回)
- 会計委員会** 会計ソフト導入による金銭出納処理開始

事務局 合同幹事会の案内(幹事数144名) 出欠確認、原本名簿管理・メンテナンス

実行委員会 高36回松澤佳幸実行委員長を中心に第47回総会・懇親会の準備
縣陵同好会支援 アルペン会、東虹会、丘の会、軟庭OB会への支援

東京同窓会運営の基本となる同窓会会則・運営細則・慶弔規定改正を大幅に行い、将来に向かって同窓会活動の永続性を高める基盤造りを図ることができました。

本年度は役員改選年度になります。諸先輩方の汗と涙と笑顔で脈々と引き継がれてきた同窓会活動の伝統を引き継ぎながら組織体制の若返りを図ることで、母校創立100周年の節目に向かって若年層、女性層の知恵とアイデアを結集して魅力ある縣陵東京同窓会の発展を模索していきます。同窓会活動は各回期から選出された145名の幹事の下、10名の代表幹事が各委員会業務を分担し、平成26年度会務計画を遂行していきます。年4回の合同幹事会には40名を超す幹事が参加し真剣な討議を行いつつ親睦を深めていますが、同窓会活動経過を全幹事が共有できるようにホームページの活用を更に図ります。東京同窓会では、毎年約3000名の同窓生に総会・懇親会案内と会報「あがた」を送付しています。毎年の総会・懇親会は、ここ数年300名を超える参加者で盛大に行われており、一時期200名を割り心配しましたが、総会指導委員会のもと実行委員会の皆様の創意と工夫で総会・懇親会が企画され、同窓会活動が地道に引き継がれている証しともいえます。しかし、返信はがきは約600通であり、(内心縣陵生諸君! 返事ぐらいは出しなさい!) 費用対効果の観点から問題ありとのご意見もいただいておりますが、皆様からの年会費、終身会費、広告料、ご寄附、総会参加費等を有効に活用させていただきます。

同窓生の皆様には、日頃から同総会活動に献身的ご協力をいただき感謝と御礼を申し上げます。また、来年も実りある同窓会活動へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

事務局長 三澤 政興 (高18回卒)

◆ 6年委員会活動報告 ◆

第1回委員会 12/14 会場:らーたん(笹塚) 出席者:18名
 第2回委員会 3/28 会場:清瀧(池袋西口) 出席者:16名
 平成25年度から新規会員の増強を目的として新たに6年委員会が発足いたしました。定期総会の懇親会を企画・運営する実行委員会から遡ること6年前の卒業回の会員に声掛けをして、若い世代の発掘をあげていくことを目的としています。今年度は2回の委員会を開催し、36期から52期までの若い会員と親睦を深めました。設立したばかりで今後どのような活動を進めていくのか手探りの状態ですが、若い会員の英知を取り入れながら絆を深めていきたいと考えています。

6年委員会委員長 中村茂幸(高27回卒)



第2回6年委員会より

● アルペン会ゴルフコンペ報告 ●

第70回アルペン会ゴルフコンペより



第69回アルペン会ゴルフコンペ 開催日:平成25年4月25日(木)
 会場:越生ゴルフクラブ 参加数:44名 天候:快晴

ランク	氏名	卒回	OUT	IN	グロス	HDCP	ネット
優勝	猪爪 雅博	高校20	50	46	96	29.0	67.0
準優勝	佐野 昇	高校5	49	47	96	28.0	68.0
バスグロ	山口 真介	高校18	40	40	80	11.0	69.0

第70回アルペン会ゴルフコンペ 開催日:平成25年10月17日(木)
 会場:大月カントリークラブ 参加数:82名 天候:快晴

ランク	氏名	卒回	OUT	IN	グロス	HDCP	ネット
優勝	野沢 晃三	高校15	41	48	89	19.2	69.8
準優勝	高砂 章	高校5	44	42	86	14.4	71.6
バスグロ	中野 栄	高校14	41	42	83	7.2	75.8

彫刻・パブリックアートの
設計・制作・施工。

絵画・彫刻・写真・工芸
アート展に。

株式会社
ビーファクトリー



いりや画廊 東京

代表 中村 茂幸 (高27回卒)

様ビーファクトリー 〒123-0864 東京都足立区鹿浜1-13-19
 Tel.03-3857-8155 be-fa@onyx.ne.jp www.onyx.dti.ne.jp/be-fa/
 いりや画廊 〒110-0014 東京都台東区北上野2-30-2
 Tel.03-6802-8122 gallery_iriya@kqh.biglobe.ne.jp



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

kenryo-tokyo.net

since 2001

縣陵東京ネットがスタートした当時、東京同窓会総会・懇親会の出席者数は180名ほどで、300名超という近年の動員力には驚くばかり。若い会員も増え、縣陵東京ネットの果たす役割も大きくなってきました。東京同窓会の広報センターとして、運営や活動を支え、縣陵の輪を広げるお手伝いができればと考えております。それら活動の記録を残してゆくことも重要なテーマです。皆様からの縣陵や松本関連の情報をお待ちしております。 <http://www.kenryo-tokyo.net> mail:info@kenryo-tokyo.net

縣陵東京ネット担当:佐原輝夫(高23回卒)

暮らし継がれる家



ありがとう 長野県内5000棟

甲信アルプスホーム株式会社

代表取締役社長 百瀬方康(高22回卒)
 経営企画本部長 上野一彦(高22回卒)
 松本市笹部1-3-6 Tel.0263-28-3131

5000

心からの笑顔は、
 豊かな心の表れです。
 私達は「心の笑顔」を
 大切にしていきます。

PURE HEARTS GROUP



所属:中島啓江

株式会社 ピュアハーツ

代表取締役 岡田 秀春 (高34回卒)
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-9-7 ニッカビル2F
 TEL: 03-6304-0188 FAX: 03-6304-0189
 H P: <http://www.purehearts.co.jp>
 mail: okada@purehearts.co.jp

当社は、オペラ歌手:中島啓江が所属する音楽プロダクションです。グループでは、アーティスト・俳優、モデルのマネージメント、コンサートなどの公演の企画制作、番組制作、CD制作、俳優養成アカデミー、音楽教室、飲食店の経営を行っています。また、音楽を通じた社会貢献のために「NPO法人音楽で日本の笑顔を」の支援を行っています。